

ハワイ島でのリゾート開発に関する請願のお願い

こんにちは。ぜひお知らせしたいことがあります。少しお時間をとって、お読みいただければ幸いです。現在、ハワイ島ではJALが出資するゴルフリゾート開発で、地元先住民族の先祖のお墓が掘り返されるという事態が発生しています。また、この工事のために世界有数の美しい湾を汚染するといった環境破壊も進んでいます。これをやめさせるためには、JALの最大ユーザーである日本人の声を届けるのが大変効果的です。ぜひ、みなさんの声をあげてください。

下記住所へ2通、請願文を送ってください。できればみなさん自身の言葉で書いていただけると嬉しいです。文面作成の時間がない方のために、右に文例をご用意しました。コピーして冒頭に宛名を、末尾に日付と貴方の署名を入れれば使えるようになっています。郵送による集約の可能な者が居りませんので、お手数ですが、取りまとめのできる方は個別に連名でお送りいただきますようお願いいたします。

〒140-8637
東京都品川区東品川2-4-11
株式会社日本航空 代表取締役社長 兼子 勲 様
および
同住所で 関連事業室部長 塚原雄二 様

(インターネットをお使いになれる方へ)

- 1) 件名もしくは本文冒頭に「賛同」と書いて、以下のアドレスまでお名前とご住所をお送りくださった方に関しては、右記の請願文を連名でJALに送ります。他の人のIDを借りて発信するなどの理由で、賛同発信アドレス以外のアドレスで当方からの報告を受信したい方、報告を受信したくない方はその旨もお書きください。

jalpetition@excite.co.jp

集約は、とりあえず4月末日を一次の締切りとしますが、その後もある程度まとまり次第お送りしますので、周りの方にもどうぞお伝えください。

- 2) メールで請願文を送られる方は、JALには公開メールアドレスが無いようなので(どなたかご存知だったら教えてください) 下記へお願いいたします。

関連事業室部長 塚原雄二 氏のアドレス

yuji.tsukahara@jal.co.jp

及びJALのホームページ管理人のメールアドレス

webmaster@jal.co.jp

以上2つのアドレスを to で同報し、

bcc で jalpetition@excite.co.jp をご指定ください

なお、この件は4月12日付けの朝日新聞でもとりあげられました。詳しくはオンライン紙面

<http://www.asahi.com/national/update/0412/004.html>

をご覧ください。

また、詳しい資料をホームページ

<http://www.jca.apc.org/arco/jal/>

にアップしました。ぜひご一読下さい。

お読みいただき、ありがとうございました。今回の件では、大きな集団としてやりとりするよりも数多くの個人が注目していることを印象付ける方が有効だと思います。ぜひ、ひとりひとりが声をあげてください。周りの方にもお知らせいただければ幸いです。

拝啓 貴社ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

突然のお便りで失礼いたします。ハワイで行われているホクリア開発の件でお願いがございまして、筆をとりました。

現在ハワイ島サウスコナで工事が行われている、貴社が最大の投資家である「ホクリア開発」では、さまざまな問題が持ち上がっているのをお聞き及びのことと存じます。

建設業者は地元住民の先祖の墓を掘り起こし、一部の遺骨はラップフィルムや紙に包んで工事現場内の家の、台所の戸棚に放置、残りは打ち砕き、ブルドーザーで土砂に埋めるといった粗暴な工事を行っています。また工事のために搬入された土砂が、世界で最も美しい海域に流出し、珊瑚礁を埋めて窒息させ、海洋生態系にダメージを与えています。一度流出した土砂を元に戻すのは至難の業です。米国法「クリーン・ウォーター・アクト」にも抵触しています。

ゴルフ場は大量の水と農薬と化学肥料を使います。水はハワイ島の人々にとって貴重な資源であり、いのちの源です。イルカやクジラの生息地として有名なケアラケア湾と周辺海域が、有毒物質によって汚染されることも懸念されます。

長くハワイ観光業を営んでこられた貴社では、ハワイの魅力を、身を持って知り尽くしておられると思います。訪れる者を常に温かく迎え、解放させてくれるハワイの文化は、ハワイ先住民が培ってきたものです。彼らにとって、遺骨を動かすことは先祖の魂が大自然に戻れなくなり、その子孫にとっても魂が失われてしまうことを意味します。こうしたハワイ先住民文化を踏みしめることは、ハワイの魅力を損なってしまうのではないのでしょうか。ゴルフ愛好者は先住民の涙の上に建つゴルフ場で楽しいプレーができるとお思いですか？彼らの墓地を壊して建設されたゴルフリゾートというイメージは、長期間に渡ってJALのイメージを損なうことになるのではないのでしょうか。

開発に先だって貴社でも事前調査やヒアリングを指示され、報告を受けていると思いますが、現在、地元住民が唱えている問題点との差異にはあまりにも大きいものがあります。事前調査やヒアリングなどを利権の絡んだところが行ったり、その費用を極端に削減したりしているかもしれません。実情を把握するために、公平な立場から監査できる方を貴社から派遣なさっていただきたいと存じます。

今回の開発において最大の投資家である貴社は、重大な責任ある立場におられます。このような開発に日本企業が関わっているのは、日本人として誠に恥ずかしく、ハワイの人たちに顔向けし難い思いがいたします。

貴社の業務では、広く一般の人びとを顧客対象としておられますので、企業イメージが大変重要であると存じます。直接の業務だけではなく、どのような計画に出資するのか、どのようなパートナーと協業するのか、どのような現地法人に任せるのか、など関係する全てのものに目を配る必要があるのではないのでしょうか。

現在、ハワイではこの開発について次から次へと裁判が起こり係争中となっています。現地業者の不正も次々に明らかになっています。いつまでもこのような業者に資金提供を続けて、無益な争いを長引かせないでください。争いつづけても魅力的なゴルフリゾートが建設され、多くの人を訪れるとは考えられません。JALの巨大な資金力がなければ、彼らは開発をあきらめるでしょう。地元住民が真に望んでいるのは墓や環境の保全であり、勝訴そのものではありません。

長引く日本経済の不況の中、高級ゴルフリゾートが人気を集めるとは思えません。疲れたサラリーマンたちは、自然を破壊して作られた人工空間ではなく、本物の大自然を求めているのではないのでしょうか。観光を専門的に研究なさっている貴社に、釈迦に説法のような生意気を申し上げて、恐縮ですが、ぜひご一考いただきたく存じます。計画の見直しがされるまで、御社の利用については控えさせていただきたく存じます。

最後に、具体的な行動としてどのようなことを希望しているか、以下の項目にまとめました。一旦、施工を開始した計画の抜本的見直しは非常に困難かと存じますが、その必要性を充分認識いただき、是非ご検討くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

- 1、 即刻工事を中止しハワイ先住民が祖先の魂に対して正式な儀式を行えるようにする
 - 2、 遺骨を元の場所に戻す
 - 3、 この土地を「ハワイ先住民歴史文化保護区 (Native Hawaiians' Historical & Cultural Sanctuary)」として寄贈し、ハワイ先住民がいつでも儀式や伝統的生活を続けられ、人類が大自然と共に生きる彼らの文化から学べる場とする
- 以上

末筆ながら貴社のより一層のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

2001年 月 日

